



2026年5月8日

各位

上場会社名 株式会社 鶴見製作所
代表者 代表取締役社長 辻本 治
(コード番号 6351 東証プライム市場)
問合せ先責任者 常務取締役 管理部門統括 敦賀 啓一郎
(TEL 06-6911-2351)

特別損失の計上と通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)通期連結決算において、特別損失(減損損失)を計上する見込みとなりました。また、特別損失の計上および最近の業績動向等を踏まえ、2025年11月11日に公表しました、2026年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社は、2024年7月2日付で公表しましたとおり、ZENIT INTERNATIONAL S.P.A.(以下「ZENIT社」)の株式を追加取得の上で完全子会社化しており、中期経営計画「Transformation 2027」のもと、グローバル戦略の強化の一環として、ZENIT社との技術・業務提携や製品・販売面でのシナジー創出に取り組んでまいりました。双方において技術・品質交流を進めた結果、ゼニット社においては同社製の水中ポンプに当社独自のスマッシュ機構を採用することで、異物通過性を高めたCTGポンプの販売を欧州他で展開し、今後の収益への寄与が期待されます。また、当社においては、ゼニット社の設備機器市場向け水中ポンプ AVANT(アヴァント)シリーズを、当社のグローバル販売ネットワークで拡販しており、北米市場・アジア市場等において着実に販売実績を重ね、シナジー効果を生み出しつつあります。

しかしながら、ZENIT社において、ウクライナ戦争の長期化や中国市場の冷え込みなどの影響を受け、当初想定していた収益の確保が見込めなくなったことに加え、生産性向上や更なるグローバル市場拡大に結び付けるための品質向上に向け、新たに多額の設備投資を計画していること等から事業計画の見直しを行い、減損テストを実施した結果、同社に関するのれん 3,117 百万円および顧客関連資産 899 百万円の減損損失を計上する見込みとなりました。これにより、同社に対するのれんおよび顧客関連資産の全額(4,017 百万円)を費用処理することとなります。

2. 2026年3月期 通期連結業績予想の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	74,000	11,000	11,300	7,800	162.41
今回修正予想(B)	77,227	10,715	13,603	5,160	107.34
増減額(B-A)	3,227	△285	2,303	△2,640	
増減率(%)	4.4	△2.6	20.4	△33.8	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	68,058	10,251	10,492	8,783	179.37

(注)1. 年間配当予想につきましては、直近に公表されている配当予想から修正はありません。

2. 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

3. 修正の理由

当連結会計期間の当社グループの売上につきましては、国内の設備市場におきまして、二年連続で下水道展の技術フォーカス部門で表彰された、高効率で優れた異物通過性能を持つスマッシュポンプへの注目度が高まったことなどにより、また、海外でも、北米地域における鉱山市場向けや鉄鋼市場向け、アジア地域における設備市場向けの需要が堅調に推移したこと等により、前回発表予想を上回る見込みです。

利益面につきましても、売上の増加や期末にかけて為替相場が円安基調で推移したこと等により経常利益は前回発表予想を上回る見込みです。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、前述のとおり、のれんおよび顧客関連資産の減損損失を計上することにより前回発表予想値を下回ると見込まれることから、上記の通り連結業績予想を修正することといたしました。

スマッシュ機構を搭載した水中ノンクログ型スマッシュポンプのご紹介

URL:<https://www.tsurumipump.co.jp/exposition/watertreatment-expo/newproduct/>



(注)上記の予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上